



エコの島コンテスト 活動報告書

申込者名

宮古島サンゴ礁ガイドのなかまたち

タイトル

知ることは守ること 身近な海をもっと知ろう

***** 活動内容 *****

※活動内容の説明及び写真等の貼付をお願いします。用紙が不足の場合は追加してかまいません。作成した資料などがあれば添付してください。この活動報告書は市のホームページで公開します。

2002(H14)年より、主にサンゴ礁の生きものさがし（観察会）などの体験型の啓発活動を行っています。未就学児から大人までが楽しめるよう、大潮の干潮に合わせて、泳がずに浅瀬を散策するスタイルで生きもの探しをしながら、サンゴやそこに住む生物を見て楽しみ、生態を学び、その保全には何が必要かについて解説しています。身近なようで遠い存在の海に慣れ親しみ、知ることから守ることにつながることを意識して活動しています。今年度では、観察会を8回、観察会と合わせた海岸清掃4回、その他の活動4回を実施しました。

観察会 4/16 真謝海岸、5/22 トゥリバー（藻場の生きもの）、6/4 & 7/5 池間ツマビジ 6/19 上野シガラ、7/3 佐和田の浜（藻場と砂地）、7/31 & 8/21 新城

一般参加を募っての観察会です。大潮で浅くなったサンゴ礁や藻場などを散策しながら、そこに住む生きものを観察しました。サンゴとはどんな生きものか、本物を見て、触って、体験してもらうことで、その大切さについて学習してもらいました。もちろん、身近な自然を楽しむことも！

6/4の池間ツマビジでは宮古特別支援学校のみなさんと、7/31は宮古島市総合博物館の「こども博物館」のみなさんとの観察会でした。

可能ときには参加者と一緒に観察会の前または後に、海岸清掃も行いました。

その他の活動

タッチプール 平良港みなとフェスタ(7/18)とパヤオまつり(8/13)でタッチプールを運営しました。指先サイズのヒトデから巨大ナマコまでいろんな生物に直接ふれることで、海への関心を深めてもらいました。

サンゴ白化調査 夏の異常高水温で多くのサンゴが白化してしまいました。新城海岸でその状況を調査し、サンゴ礁の姿の移り変わりを記録しました(7/31)。

室内レクチャー 本来は佐和田の浜で観察会の予定だったのですが、雷雨のため、少年自然の家で佐和田の浜の自然についてレクチャー(8/5)。野外に行けず残念でしたが、映像とお話で佐和田の浜の自然や魚垣への理解を深めてもらいました。

